

資料 2

1. 経緯・概要

中央協議会において、平成30年度より荷待ち時間が特に長い輸送分野(加工食品、建設資材、紙・パルプ。以下「対象輸送分野」という。)について、それぞれの分野ごとにサプライチェーン全体における効率化及びトラックドライバーの労働時間の改善を図るため、関係荷主、トラック運送事業者、学識経験者等から構成される「生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」を開催し、課題の洗い出しや解決の方向性について検討されている。

今年度は、各地方協議会においても地域の実情を踏まえながら、対象輸送分野の内一つを選定し、各地方における課題の整理、課題に対する改善策の活用等について検討を行い、広く周知を図る。

2. 選定した対象輸送分野(テーマ)

加工食品

3. 検討の流れ

9月

対象輸送品
目の選定

10月

課題の洗い
出し

11月～12月

事業者及び
荷主へのヒ
アリング

1

1月～2月

改善策の
検討

3月～

検討結果の
周知・活用

本省懇談会での加工食品例

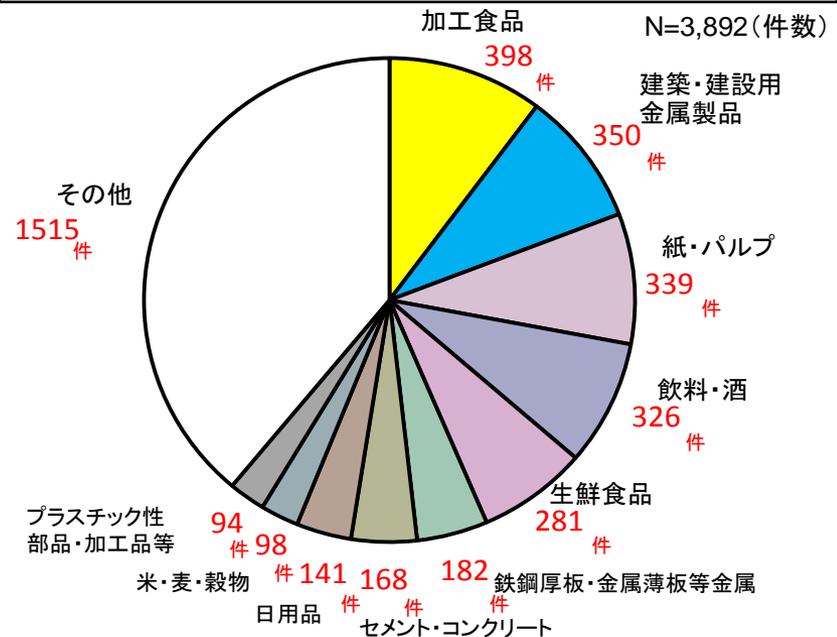
I. 常温品	II. 冷蔵食品	III. 冷凍食品
菓子類、パン類、調味料、惣菜類、レトルト食品、カップ麺類 等	乳製品(牛乳・ヨーグルト)、乳製品(チーズ、バター)、食肉加工(ハム、ソーセージ類)等	アイス・シャーベット類、冷凍食品 等

- 他の産業と比較して長時間労働・低賃金の状況にあるトラック運送業の将来の担い手を確保するためには、荷主等の理解・協力なども得つつ、取引慣行上の課題も含めてサプライチェーン全体で解決を図っていく必要がある。
- 一方、輸送品目によって輸送等の特性が異なる面があり、輸送品目に応じて検討を実施することが効果的な面がある。
- このため、荷待ち件数が特に多い分野等について、それぞれ課題の抽出を図るとともに、各都道府県ごとに発着荷主及び運送事業者が参画して長時間労働の改善を図るために実施したパイロット事業のノウハウの展開等を行う。

検討事項のイメージ

- ・現在生じている課題についての関係者間の認識の共通化
- ・輸送品目ごとのサプライチェーン全体における生産性向上等に関する課題の抽出
- ・改善策について、パイロット事業により得られたノウハウも活用しつつ関係者間で検討・検証
- ・改善策についての展開・浸透

30分以上の荷待ち時間が生じた件数(輸送品目別)



「加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」開催状況
URL : http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000036.html

第1回 : 平成30年6月29日開催・第2回 : 平成30年12月13日開催・第3回 : 平成31年3月25日開催・第4回 : 令和元年7月3日開催

「紙・パルプ物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」開催状況
URL (洋紙・板紙部門) : http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000038.html
URL (家庭紙部門) : http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000039.html

(洋紙・板紙部門) 第1回 : 平成30年10月6日開催・第2回 : 平成31年2月27日開催・第3回 : 令和元年6月25日開催
(家庭紙部門) 第1回 : 平成30年12月13日開催・第2回 : 平成31年2月28日開催・第3回 : 令和元年6月25日開催

「建設資材物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」開催状況
URL : http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000042.html

第1回 : 平成30年12月21日開催・第2回 : 令和元年7月8日開催

※集合住宅・事業用不動産等分科会第1回を平成31年3月27日に開催

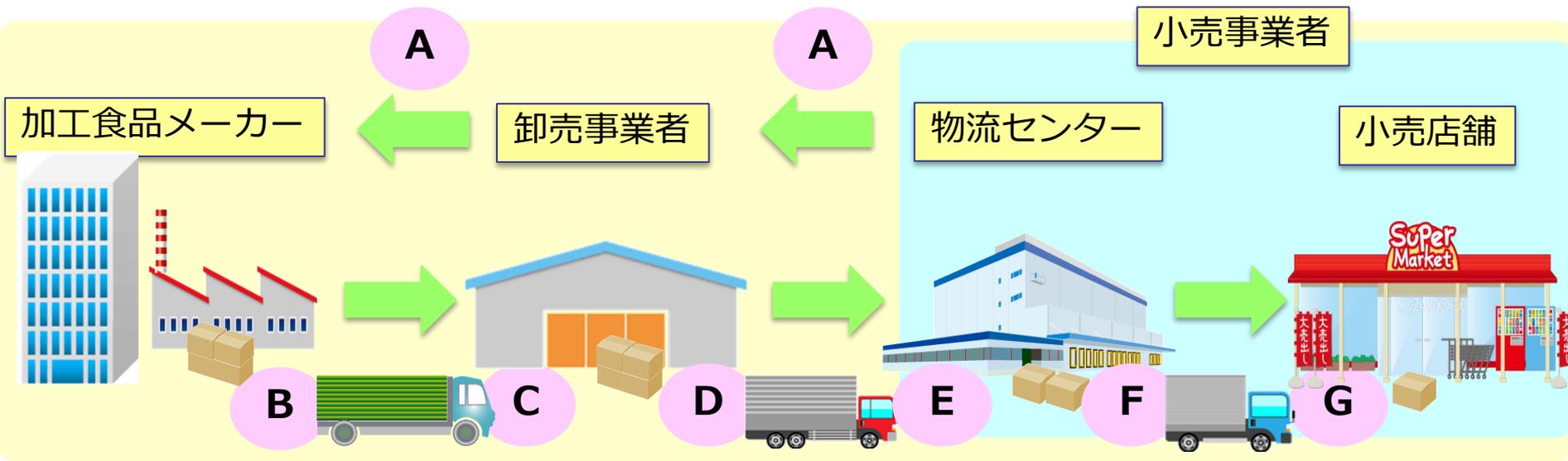
※戸建て住宅等分科会第1回を平成31年3月27日開催

- トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会において、平成28年度から平成29年度にかけて、発着荷主及び運送事業者が一体となって長時間労働の改善に取り組むパイロット事業を実施。
- パイロット事業では、様々な輸送品目について取組を行ってきたが、個々の輸送品目ごとに抱える課題や特性に違いがあるところであり、関係者が連携して課題解決を図っていく上では、輸送品目別に検討を行うことが効果的。
- 昨年7月に実施した荷待ち時間の調査において、加工食品関係が件数が最も多かったことも踏まえ、加工食品における物流に関係する幅広い関係者からなる懇談会を設置。
- 関係者間で存在する課題についての意識共有やパイロット事業等のノウハウ等の共有及び取組の展開を図り、トラックドライバーの労働時間の改善・サプライチェーン全体における効率化を図る。

「加工食品物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」委員

矢野 裕児	流通経済大学教授（座長）	【行政】	
堀尾 仁	味の素株式会社理事 食品事業本部 物流企画部長	黒澤 朗	厚生労働省労働基準局労働条件政策課長
小谷 光司	三菱食品株式会社ロジスティクス本部 戦略オフィス室長	宮浦 浩司	農林水産省食料産業局食品流通課長
鷺野 博昭	株式会社セブン・イレブン・ジャパン QC・物流管理本部物流・生産管理部 東日本物流管理 副総括マネジャー	東野 昭浩	農林水産省食料産業局食品製造課長
戸川 晋一	株式会社ヤオコー取締役情報システム部長 兼ロジスティクス推進部長	伊奈 友子	経済産業省商務・サービスグループ 消費・流通政策課物流企画室長
谷 章	一般社団法人日本スーパーマーケット協会 会員サポート部長	山田 輝希	国土交通省総合政策局物流政策課長
北條 英	日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 ロジスティクス環境推進センター センター長	多田 浩人	国土交通省大臣官房参事官（物流産業）
西願 廣行	日本冷蔵倉庫協会副会長	平嶋 隆司	国土交通省自動車局貨物課長
飯原 正浩	株式会社丸和運輸機関常務執行役員		
坂本 隆志	全日本トラック協会食料品部会 部会長		
村西 正実	全日本トラック協会 審議役		

加工食品物流の課題の発生箇所



発生箇所 A・B・D
 【小売・卸発注時、メーカー・卸出荷時】

- ・発注から短期間での納品、特定の日に物量が集中
 ⇒ **【受発注条件の見直し】**

発生箇所 C・E・G
 【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・荷卸し場所の処理能力や車両集中に起因する待ち時間の発生
 ⇒ **【荷待ち時間の削減】**

発生箇所 B・C・D・E
 【メーカー・卸荷積み時、卸・物流センター荷卸し時】

- ・荷積み・荷卸し時に長時間の荷役作業が発生
 ⇒ **【荷役時間の削減】**

発生箇所 C・E・G
 【卸・物流センター・小売店舗荷卸し時】

- ・業界の慣習や目視等による長時間の検品作業
 ⇒ **【検品時間の削減】**

- トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会において、平成28年度から平成29年度にかけて、発着荷主及び運送事業者が一体となって長時間労働の改善に取り組むパイロット事業を実施。
- パイロット事業では、様々な輸送品目について取組を行ってきたが、個々の輸送品目ごとに抱える課題や特性に違いがあるところであり、関係者が連携して課題解決を図っていく上では、輸送品目別に検討を行うことが効果的。
- 昨年7月に実施した荷待ち時間の調査において、紙・パルプ関係が件数が多かったことも踏まえ、紙・パルプにおける物流に関係する幅広い関係者からなる懇談会を設置。
- 関係者間で存在する課題についての意識共有やパイロット事業等のノウハウ等の共有及び取組の展開を図り、トラックドライバーの労働時間の改善・サプライチェーン全体における効率化を図る。

「紙・パルプ物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」委員

洋紙・板紙分野

矢野 裕児	流通経済大学教授(座長)
伊藤 洋一	日本製紙連合会物流委員会委員長
有坂 直樹	日本洋紙代理店会連合会物流委員会委員長
難波 睦雄	日本板紙代理店会連合会白板紙部会長
井元 伸哉	(株)竹尾 執行役員
小澤 典由	日本印刷産業連合会 常務理事
佐藤 行伸	全国段ボール工業組合連合会
上野 正人	JPTランスポートサービス(株)代表取締役社長
中島 義弘	王子陸運(株) 代表取締役社長
近野 裕之	平田倉庫(株) 常務取締役東京支店長
松崎 宏則	全日本トラック協会 常務理事

家庭紙分野

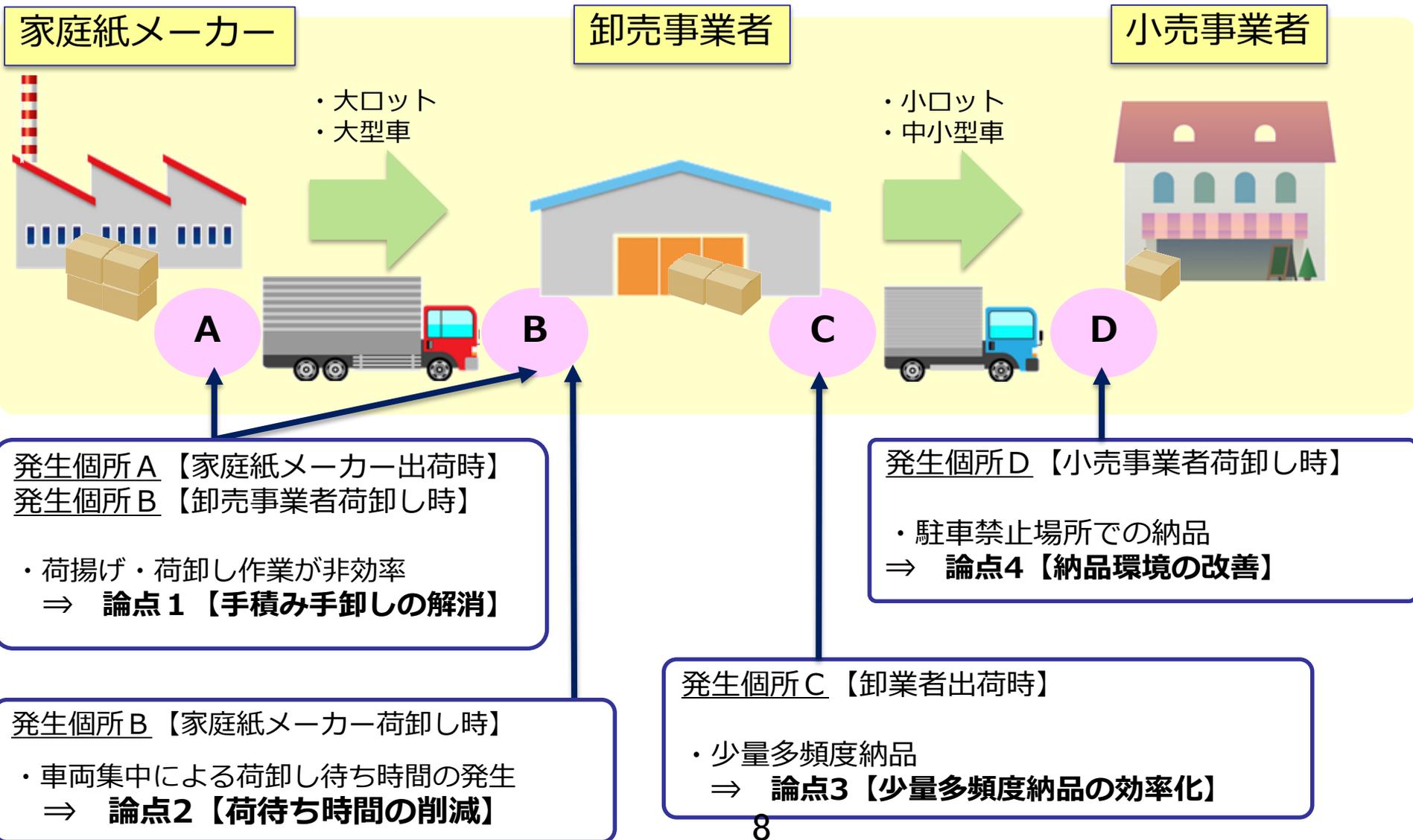
矢野 裕児	流通経済大学教授(座長)
今枝 英治	全国家庭紙同業会連合会理事長
田北 裕之	日本家庭紙工業会会長
藤原 愛三	全国化粧品日用品卸連合会 専務理事
西井 勝己	(株)浅井 取締役配送システム事業部長
松崎 宏則	全日本トラック協会 常務理事

【行政】

黒澤 朗	厚生労働省労働基準局労働条件政策課長
湯本 啓市	経済産業省製造産業局素材産業課長
山田 輝希	国土交通省総合政策局物流政策課長
多田 浩人	国土交通省大臣官房参事官(物流産業)
7 平嶋 隆司	国土交通省自動車局貨物課長

紙・パルプ物流(家庭紙分野)の課題の発生箇所

※議論の便宜上、網羅的な図とはしていない



- トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会において、平成28年度から平成29年度にかけて、発着荷主及び運送事業者が一体となって長時間労働の改善に取り組むパイロット事業を実施。
- パイロット事業では、様々な輸送品目について取組を行ってきたが、個々の輸送品目ごとに抱える課題や特性に違いがあるところであり、関係者が連携して課題解決を図っていく上では、輸送品目別に検討を行うことが効果的。
- 昨年7月に実施した荷待ち時間の調査において、建設資材関係が件数が多かったことも踏まえ、建設資材における物流に関係する幅広い関係者からなる懇談会を設置。
- 関係者間で存在する課題についての意識共有やパイロット事業等のノウハウ等の共有及び取組の展開を図り、トラックドライバーの労働時間の改善・サプライチェーン全体における効率化を図る。

「建設資材物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善に関する懇談会」委員

矢野 裕児 流通経済大学教授(座長)

奥田慶一郎 日本建材・住宅設備産業協会専務理事

中野 優 日本建設業連合会建築生産委員会施工部会副部会長

大西 康之 日本建設業連合会公共工事委員会生産性向上部会長

柳 求 住宅生産団体連合会環境・安全部長

山崎 晃生 合同製鐵(株)常務執行役員

鎮目 隆雄 (株)フコックス代表取締役社長

瀧本 雅弘 豊橋センコー運輸(株)本社営業所 所長

松崎 宏則 全日本トラック協会 常務理事

【行政】

黒澤 朗 厚生労働省労働基準局労働条件政策課長

縄田 俊之 経済産業省製造産業局生活製品課住宅産業室長

山田 輝希 国土交通省総合政策局物流政策課長

多田 浩人 国土交通省大臣官房参事官(物流産業)

高橋 謙司 国土交通省土地・建設産業局建設業課長

長谷川貴彦 国土交通省住宅局住宅生産課長

平嶋 隆司 国土交通省自動車局貨物課長

建設資材物流における課題の発生箇所

※議論の便宜上、網羅的な図とはしていない

課題: 荷待ち時間の発生
⇒【論点①】工事現場の進捗状況等の情報共有

課題: ドライバーが附帯作業を実施
⇒【論点③】附帯作業の軽減

課題: 発注期限が守られない場合がある
⇒【論点②】リードタイムの確保

課題: 検品・仕分作業に時間がかかる
⇒【論点④】検品・仕分作業の効率化

ゼネコン・ハウスメーカー

工程管理

関係事業者
(職長)
工務店

工事現場

